

-
- 新体系への移行については、情報収集しながら検討し、計画、準備をすすめる。
 - 障害者自立支援法の制度の変化に伴う情報収集と、事務との連携に努める。
 - 授産収入を引き上げるために、パンのほか焼き菓子の製造販売と販路の拡大および下請け仕事の新規獲得をすすめ、利用者の工賃アップを段階的に進める。
 - 小金井生活実習所のパン製造工場との連携体制のしくみを整えていく。
 - 作業のほか、利用者の年長化や心身の変化や状態に応じた日中プログラムの幅をひろげていく。
 - 利用者支援の質の維持向上を図るため業務マニュアル等の整備に取り掛かり、また、パート職員との合同会議を開催し、情報の共有化を図る。
 - かがわの家のバックアップ施設として、スタッフとの合同会議で情報を共有化し、一定の支援の質を維持していく。
 - 施設便りや保護者会で施設情報や方針を伝達し、家族との連携を図る。

1. 施設運営

（1）実施事業

作業内容…付録の袋詰め、封筒制作、試験管検品、ダイレクトメールの封入、土嚢袋制作他各事業所と連携を図りながらすすめてゆく。

自主製品の製造・販売…パン、焼き菓子など

リサイクル事業…アルミ缶回収

（2）利用者の処遇

利用者定員…25 名（現員 24 名）

ア、処遇方針

- ・法人の理念に基づき、障害者の人権を尊重し、地域社会であたりまえの生活が営めるように支援する。
- ・自閉症と知的障害の方の「働く場」として、各種作業に取り組み、作業能力の向上を図ると共に、社会生活に必要な能力を養い、自立と社会参加をすすめ、より充実した生活が過ごせることをめざす。
- ・家庭やケアホームとの連携を図り、生活全般について必要な援助を行う。
- ・利用者の個別支援計画に基づき、短期的な援助計画を明確にして、支援内容の充実を図る。

イ、健康管理

- ・利用者の心身の健康に留意し、家庭、ケアホーム、医療機関との連携を図る。
- ・薬の管理は担当職員が行う。
- ・定期的に体重、体脂肪測定を行い、体重の管理に気を配る。
- ・定期的に軽運動やリラクゼーションタイムをとり、心身の気分転換を促す。

5 月 内科検診（嘱託医）

2 月 健康診断（14 万円）

毎月 訪問歯科

ウ、主な行事

- ・利用者の要望も聞き、行事の企画に反映していく。

5 月 春の日帰り旅行（5 万円）

10 月 秋の一泊旅行（3 6 万円）

12 月 クリスマス会（1 万円）

3 月 慰労会（1 万円）

エ、給食

- ・分量の調整など利用者各自の健康状態や咀嚼に応じた給食を提供する。
- ・季節感を盛り込んだメニューを提供する。

オ、安全管理

- ・防災訓練を毎月実施する。(以下の訓練を含む)

学園との合同訓練 年1回(7月) 三施設合同訓練 年1回

引き渡し訓練 年1回(8月)

(3) 職員の処遇

職員の処遇

施設長	1名
作業指導員	1名
生活支援員	2名
生活支援員	9名(パート職員)
事務員	1名(パート職員)
調理員	2名(パート職員)

健康管理

健康診断 年1回

会議

法人全体会 3月

アドベント礼拝 12月

グループかがわ全体職員会 年3回

運営会(施設長 主任等) 月1回 成人部会(施設長 主任等)

かがわブロック施設長会(理事長、常務、施設長、事務員)

職員会議 年6回 ケース会議 年6回

研修計画

<法人> 新人職員研修 全体職員研修 施設長研修(7万円)

<ブロック内> 全体職員研修 実践報告・合評会(3万円)

<施設内> 新人職員研修(3月) 職員全体研修(4月、9月)

<外部研修> 各自1回以上(4万円)

※ 嘱託医、相談事業は各1名業務委託契約により実施する。

2. 施設管理

(1) 設備関係

- ・授産、給食、空調等、設備関係の故障の可能性を考慮する。
- ・外部階段手すり設置
- ・壁面ひび割れ補修

(2) 備品関係

- ・作業内容の変化に応じて購入、整備を行う。

(3) 災害対策

- ・防災備品の点検・整備を行う。

3. 地域社会との連携

- ・利用者通勤時のトラブルに注意する。
- ・駐車場の出入りによる近隣への迷惑に配慮する。
- ・町内会の会合への出席、町会祭り等へ参加し、地域の方たちとの理解を深め、交流を持つ。

